

第4回

アニメーション美術の技法で

「空と雲」を描こう

8/23 (土) 10:00～12:00 (中学生)
14:00～16:00 (小学生)

会場：三鷹ネットワーク大学

対象者のみ参加(保護者の見学・兄弟同伴不可)

スタジオジブリ作品の手描き背景美術にも使用しているポスターカラーで、「青空に浮かぶ雲」を描きます。

アニメーションの背景美術のこだわりやコツを交え、絵具による「アニメ背景技法」をお伝えします。



講師 **渡邊 洋一** (わたなべ よういち)

元スタジオジブリのアニメーション美術監督で、現在はヴェイサエンターテインメント株式会社代表取締役。背景美術で使用する「ポスターカラー」を使用して、絵具による「アニメ背景技法」の普及・継承を目的とした活動を行っている。三鷹の森ジブリ美術館上映作品『水ぐももんもん』美術監督。

申し込み

7月8日(火)9:30～8月11日(月)21:00 までに、右記の二次元コードからお申し込みください。
抽選結果は、8月13日(水)までにメールでお知らせします。

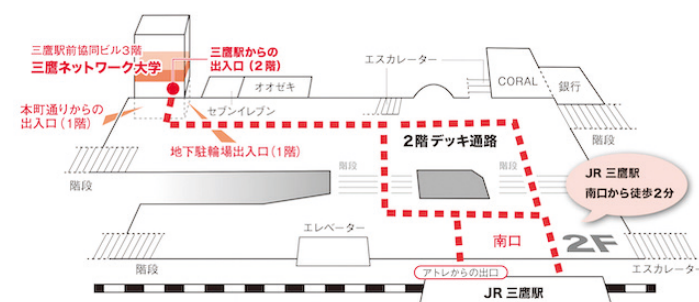


中学生クラス
定員 20 名



小学生クラス
定員 20 名

第1回・第2回・第4回 会場 三鷹ネットワーク大学



駐車場はございません。

お車は近くのコインパーキングに止めてください。駐輪場は建物の地下1階にあります。



第3回 会場 国立天文台(三鷹市大沢2丁目21-1)



車でお越しの方

送迎のみの方は、正門前のロータリーで一時停車をお願いします。
保護者も参加する場合は、左記の駐車場(地図の右下)をご利用ください。



<問合せ>

NPO 法人三鷹ネットワーク大学推進機構
三鷹市下連雀3丁目24番3号 三鷹駅前協同ビル3階
20周年記念事業「子ども向け特別講座」担当
TEL:0422(40)0313
MAIL:info@mitaka-univ.jp



講座詳細はコチラをご覧ください。↑
<https://www.mitaka-univ.org/>

三鷹ネットワーク大学開設 20 周年記念事業

参加費無料

子ども向け特別講座

三鷹ネットワーク大学開設 20 周年を記念し、子どもの探究心を育み、未来につなげるため、夏休み期間中に、小・中学生対象の講座を開講します。

講師は、三鷹ネットワーク大学の会員大学・研究機関・協力団体の教員・専門家です。

小学生クラス(4年生～6年生)、中学生クラスがあります。ぜひ、参加して、将来の夢を広げましょう！

	講座名	日時	対象・定員
第1回	考古学は面白い！ ー土器・土偶や人骨から 縄文時代の人々の生活をさぐる	8/1 (金)10:30~12:00	小学 4~6 年生 30 名
		8/1 (金)14:00~15:30	中学生 50 名
第2回	AI の仕組み、 知っていますか？	8/8 (金)10:30~12:00	小学 4~6 年生 30 名
		8/8 (金)14:00~15:30	中学生 50 名
第3回	太陽活動と宇宙天気 ー意外と知らない太陽のことを学ぼう	8/21 (木)10:30~12:00	小学 4~6 年生 30 名
		8/21 (木)14:00~15:30	中学生 50 名
第4回	アニメーション美術の技法で 「空と雲」を描こう	8/23 (土)10:00~12:00	中学生 20 名
		8/23 (土)14:00~16:00	小学 4~6 年生 20 名

申込期間

第1回・第2回

7/1(火)9:30～7/25(金)21:00

第3回・第4回

7/8(火)9:30～8/11(月)21:00

参加費 第1回～4回とも無料

持ち物 筆記用具

申込方法

中面の各講座欄の二次元コードから、各講座ごとにお申込みください。
複数の講座に申込みできます。応募多数の場合は抽選になります。

※抽選結果は、メールでお知らせします。

主催：NPO 法人三鷹ネットワーク大学推進機構 後援：三鷹市教育委員会 協力：国立天文台、電気通信大学、東京都立大学、三鷹の森ジブリ美術館

第1回

考古学は面白い！

—土器・土偶や人骨から
縄文時代の人々の生活をさぐる

8/1 (金) 10:30～12:00 (小学生)
14:00～15:30 (中学生)

会場：三鷹ネットワーク大学

保護者1名のみ見学可(兄弟同伴不可)

遺跡を発掘すると、日常品である土器や石器の他に土偶などのお祭りの道具や、まれには当時の人の骨が見つかったりします。今回は、縄文時代の遺物や人骨から、当時の人々がどのような生活をしていたのか、さぐってみたいと思います。



講師 **山田 康弘** (やまだ やすひろ)

東京都出身。筑波大学を卒業後、国立歴史民俗博物館教授等を経て、現在東京都立大学人文社会学部教授。縄文時代の集落や墓・人骨のほか、土偶などのお祭りの道具を分析して、当時の人々の社会や心のあり方を研究しています。

申し込み

7月1日(火)9:30～7月25日(金)
21:00 までに、右記の二次元コード
からお申し込みください。

抽選結果は、7月27日(日)までに
メールでお知らせします。



小学生クラス
定員 30 名



中学生クラス
定員 50 名

第2回

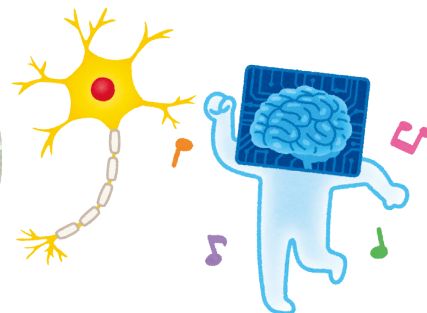
AIの仕組み、 知っていますか？

8/8 (金) 10:30～12:00 (小学生)
14:00～15:30 (中学生)

会場：三鷹ネットワーク大学

保護者1名のみ見学可(兄弟同伴不可)

最近流行りの AI、皆様の中にも宿題をやってもらった人がいるのではないでしょう。では、AI がどのような仕組みで動いているか、知っていますか？
このセミナーでは AI の原理を皆様の理解度に合わせて説明します。



講師 **土屋 英亮** (つちや ひであき)

電気通信大学情報基盤センター 教授 博士(工学)

1996 年電気通信大学大学院電気通信学研究科電子工学専攻博士後期課程単位取得退学。電気通信大学助手、助教授、准教授を経て、2019 年 4 月より現職。専門研究分野は、情報理論、画像処理、情報ネットワーク、情報セキュリティ。現在は、情報基盤センターにて学内の情報システムの企画及び運用管理と UEC-CSIRT にて学内外の情報セキュリティの維持管理を主任務としている。

申し込み

7月1日(火)9:30～7月25日(金)
21:00 までに、右記の二次元コード
からお申し込みください。

抽選結果は、7月27日(日)までに
メールでお知らせします。



小学生クラス
定員 30 名



中学生クラス
定員 50 名

第3回

小学生クラス

太陽活動と宇宙天気

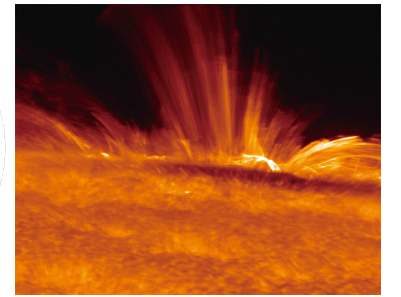
—意外と知らない太陽のことを学ぼう

8/21 (木) 10:30～12:00

会場：国立天文台すばる棟1階大セミナー室

保護者1名のみ見学可(兄弟同伴不可)

天文学者みんなが夜空を眺めているわけではありません。地球環境や私たちの暮らしに大きな影響を与える太陽研究はとても大切です。身近だけど意外と知らない太陽活動について、普段非公開の望遠鏡見学と講座で学んでみましょう。



講師 **米谷 夏樹** (よねたに なつき)

1991 年生まれ。国立天文台太陽観測プロジェクト特任専門員。東京学芸大学大学院で電波天文学を研究し、プラネタリウム解説員、博物館学芸員などを経て現職。研究と共にアウトリーチ活動に積極的に取り組む。

申し込み

7月8日(火)9:30～8月11日(月)
21:00 までに、右記の二次元コード
からお申し込みください。

抽選結果は、8月13日(水)までに
メールでお知らせします。



定員 30 名

第3回

中学生クラス

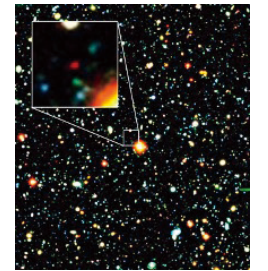
すばる望遠鏡の 役割ってなに？

8/21 (木) 14:00～15:30

会場：国立天文台すばる棟1階大セミナー室

保護者見学可(小学生以上の兄弟同伴可)

人類の宇宙観の進化をたどり、すばる望がめざす観測を中心に、暗黒物資や暗黒エネルギーなどについても画像を用いて分かり易く紹介します。
宇宙史の中での人類文明の立ち位置について考える内容です。



講師 **家 正則** (いえ まさのり)

ハワイに 8 m すばる望遠鏡を建設し、その視力を 10 倍にする装置を開発して、130 億光年かなたの宇宙の観測や太陽系外の惑星探査を行っている。東京大学理学博士、国立天文台名誉教授、日本学士院会員。

申し込み

7月8日(火)9:30～8月11日(月)
21:00 までに、右記の二次元コード
からお申し込みください。

抽選結果は、8月13日(水)までに
メールでお知らせします。



定員 50 名